



号者局 58 貴務 行 第 発行

平成15年3月20日 一 所 出 武 水 平 鈴 3700-3657

春風のよう

用賀三丁目 小高和子

桜町高技前の富士見坂から山々の姿が望めなくなつてスレいが、町には今も人の温もりが生きている、

ある日、一人暮らしのAさんが居間で転び骨折した、

彼女はすぐ知人に助けを求め、電話をかけたが、何故か何度かけても一番遠いのお宅につながってしまった、

電話を受けた方は異変に気づき、緊急手配して下さった、

今、彼女は高齢とは思えない快復がりで、リハビリに励んでいらっしやること聞く、

Aさんは、246号線がまだ弾丸道路と呼ばれていた頃、桜町小学校で先生方と共に、子供達の為に校舎や教材の充実を心を砕いたPTA役員のお一人である、

人は支え合って生きている、さりげなく「お手伝いしましょうか」ありがとうし「思いやる心、大切に受け継いでいきたいと思う、



子育てサロン コスモス

用賀三丁目 持田俊三

「おはよう 良く来たね！ 玩具を見てとんで行く子、お母さんにしがみつく子、少し時間が過ぎ、雰囲気になれてきて親子共々打ち解けて話し出し遊び出す。昔の若者がその輪に入り話を聞いたり、子育て体験を語ったり、親同士が話しやすいように幼児を預かったり等々。子育て真っ最中の親同士が、子供とちよつと離れて話し合える場を提供できたらしと有志の民生委員で立ち上げたサロンです。昨年の十月に発足して五ヶ月になりました。毎回四十人十三人の幼児が参加しての嬉しい出会いのひとつです。第三通の金曜午前十時から午後三時用賀児童会館(第三)にて(民生委員)

春

支えあつて 楽しいわがまち

通園バスを待つ間に

ある幼稚園の通園バスの立寄り所が近くにあり、送り迎えのお母さん方の話を伺いました。近くに幼稚園も、小学校もあるのに、バス通園の幼稚園を送るんだのは、伝統があり、私立小学校の入学率が高いということでした。でも、二、三の方々は近くの小学校への入学も考えて、惑ったそうです。

バス通園に子供達は喜んで、仲良くなったりで、話の場所となりました。本園も開通となり、小学校の入学も決まり、目出度い限りですが、お母さん方はこれから忙しくなります。頑張ってください。

取材 大坪智恵子

地域を支える防災訓練

番 町 松岡康栄

阪神淡路大震災の経験から、いざと云う時、街ぐるみで如何に災害に取り組みかを決めておくことは、最重要課題であります。特に、学校の体育館や教室は避難場所指定されています。そこで学校としての防災体制の中に地域の人々を組み込み、連携を密にして対応できる組織作りを日頃から心掛けておかないとはなりません。

学校と町会が一致協力して、児童と家族の安全の確保を考え行動する為の、地域防災訓練を実施しています。他人事と思わず、真剣に考え、積極的にご参加下さい。(玉川三丁目町会長)

このまちに移り住んで

用賀六丁目 丸山尚之

引っ越してきて初めての春、西用賀通りの桜並木を見て、「桜のトンネルだ」と言っていて喜んでいた当時保育園児だった息子も、四月から小学三年生となります。昨年からは我が家も校外委員を経験し、地域のコミュニティの取組みを知る機会を得ました。同時に、こうした取組みには多くの方の力が必要だということも感じました。

今、分譲マンションや戸建が相次いで建設されています。そこに住む新しい方々も、コミュニティの取組みに積極的に参加することで用賀での生活はより充実すると思えます。

谷沢川ものがたり

鈴木武一

明治初め頃の世田谷通り三軒茶屋から町田まで登戸街道と名付けられ農産物の主要道用賀坂下通りから広瀬工場あたりにして糸引き工女さようなら松原地区で合流し新宿御苑まで行った内藤新橋この辺り京王線の出発地(現三丁目)今 西口の盛場は武州鉄道をすれ果て京王線の御旗谷多摩の水除郡庁ビルオツと此処から谷沢川馬車公苑の池のそば交番わきの坂の下噴き出た天神池の水何故か時雨のかくれ蓑上用賀公園ぐり抜け民家の庭も横切って材木屋前 又 もぐり曲りまがりの急ぎ足東急駅ビルと巡り天神池や五郎池中丸川も手に入れて顔だしました田中橋高遠三号とにして向い大橋そつと越し何だか怖い中の橋構造はしも素通りでゴルフの橋を遊ば川足から先が溪谷で行者姿の不動橋流れに植えたワサビ苗并な近所の人々が植えた谷沢川から丸子川多摩の流れで太平洋



おわり

郷土紹介

大山道再考 その二

今年江戸開府四〇〇年、江戸市中、で色々な行事が予定されている……

江戸を離れること三里、彦根藩世田谷領では、今から二六四年前の元文四年、大きな事件が起った。四代に亘って世田谷領の代官を世襲して来た大場市之丞家が年貢未進と云う罪で屋敷田畑没収、領外追放と云う厳しい処分を受けた。

代って、世田谷新館で宿場役人を兼ねていた世田谷村の名主大場六兵衛と用賀村の名主飯田平兵衛が代官職に就いた。彦根藩の二人代官制の採用である。

時あたかも江戸市中では町人層に経済的余裕が出て

真冬の新宿御苑から春の瀬田フラワーランドまで

玉川三丁目

矢口

その当時わたしは、立冬を過ぎるころから疲れと鬱になつて自分の自分を自覚しました。こんなときは、きまつて新宿御苑へいくことにしていました。休みの日でも人影など、めったにありません。しかも冬の最中のことです。

しかしわたしは、新宿御苑へかよいました。それは温室へいく為で

した。熱帯植物の甘い匂いは香り。昆虫の触手のような動物的な愛。眩しいほどの原色。うっすらと汗をかくころには、これは幻想だと錯覚を起す気分になつたものです。

こんなことをしながら、わたしは春を待ちました。



きて、信仰と観光を目的とした大山詣でが盛んになつて行つた頃である。年毎に世田谷の村々を通り大山に向う人が多くなつていった。そこで、大場、飯田代官は、この時期、道路の整備、道標の設置と交通網の拡充につとめていた。

世田谷上宿から用賀村への直線道路や三軒茶屋から五川通り沿いに用賀へ向う道は、その頃作られたものと思われる。その道分には不動尊座像や庚申塔等が建てられ、右江戸道、左大山道、登戸道と文字が刻まれ道しるべの役目を果たした。人々は何時からか、これ等の道を『大山道』と呼んでいる。



いまでは春先になると公園を抜けて東名の高架下から瀬田フラワーランドへ入って一休みするのが散歩の道順になりました。

春、フラワーランドの入口では、白いクレマチス「アーマンデイル」の芳香がまず私を迎えてくれます。

園内では、こぶし、寒緋桜、桜華などの可憐な姿を次々に楽しむことができ、パンジー、スイセン、スノードロップ等が織り成す優しい水彩画のような風景に心が癒されるのを感じます。

幼い子ども達の笑い声、園内を流れるせせらぎに住むアイカモ、すべてが私に安らぎを与えてくれます。

さあ、少し軽い服を着てあなたも出掛けてみませんか。瀬田フラワーランドまで……

緑多きふるさと

用賀二丁目 上野恭仁

緑多きふるさと 山又山 南に霊峰富士 北に八ヶ岳 東に茅ヶ岳 西に南アルプス。JR中央線並崎駅下車小さな平地藤井平五千石と云われた米の生産地。他に麦、蕎麦、自給の野菜等、生活の糧とした村に育った。

今から四百数拾年前戦国時代の雄武田信玄公の子 武田勝頼公築城新府城の麓に位置した所築城と同時に落成したと伝えられている。織田徳川氏に破れ 天目山に散る。あわれ…… 春風秋雨酷暑厳寒 四季折々 奈しいすばらしい村わがふるさと 懐かしさが甦える。

わが故郷

我が母校並崎高校サッカーの名門 全国大会三十一回出場 サッカーでは全国知る人ぞ知る。 サッカーの話題は私の何よりの楽しみの一つでもある。昔 東京へ 東京に あこがれ 生活を始めた昭和三十年代 たまに帰省し 駅に立つ その時の冷気が 暑さが 又家さが 我が身をふるい立たせた。新にがんばろうと決意したものだ。

ふるさととは遠きにありて思ふもの そうだろうか 親兄弟離れて久しい。 私の第二のふるさととは用賀一丁目 とても美しい谷沢川の桜並木のそばが私のふる里かも……

なつかしさがいつぱいふるさとを思ふ時…… 終

スポット

統一地方選挙

〇4月13日(日)

午前7時～午後8時

東京都知事選挙

〇4月27日(日)

午前7時～午後8時

世田谷区議会議員選挙

世田谷区長選挙

世田谷区議会議員選挙

衆院東京6区補欠選挙

不在者投票所及び期間について

は区のおしらせ等をご覧ください。

用賀出張所

二子玉川花みす木

フェスティバル

〇4月29日(火・みどりの日)

兵庫島公園にて



世田谷の梅まつりも終り、春本番も間近かです。 子育てサロンコスモスに参加の子育て中のお母さん方は、人生の春本番ですね。 一人暮らしの人さん、さりがなく「お手伝いしましよ」うか！と思ひやる心の町の人達の中で、リハビリに励んで下さい。

上野さん、第二のふるさと用賀から、緑多い故郷の母校のサッカーの話題、たのしいです。

地域の防災訓練には、皆さん積極的に参加されることを希望致します。

春風と共にフラワーランドにお出かけ下さい。

(大坪)

